

平成24年度 第1回みなと総研フォーラム

沿岸域での安全な街づくり -世界と日本の沿岸防災とその将来-

日時：平成24年12月13日（木）
講演会・・・・・・・・・・ 15：00～16：45
調査報告・・・・・・・・・・ 16：45～17：30
意見交換会・・・・・・・・・・ 18：00～19：30
場所：日本消防会館 5階 大会議室
東京都港区虎ノ門2丁目9番16号
主催：一般財団法人みなと総合研究財団
後援：日本沿岸域学会

【講演会】

世界と日本の最近の津波・高潮災害を取り上げ、今後の沿岸域での安全な街づくりの方向性について論じる。東北大震災後の具体的な作業として、全国の都道府県では、過去に作成した津波ハザードマップの再検討を行い、県レベルでの津波浸水想定を見直した。これまで生起する確率が低いと考えられて防災計画に含まれていなかった地震にも焦点を当て、津波の歴史的検討とともに津波の予測シミュレーションの波源モデルを修正して、来襲する津波の予想波高をより適切に設定しなおす必要があった。この際に注意すべきことは、日本国全体の視点と個々の地域の視点は異なるということである。横浜市と鎌倉市あるいは東京都に大きな津波発生させる地震は異なるため、それぞれの地域ごとの条件設定が必要となる。また地震による津波の波源域をどのように設定するかにより、地域に押し寄せる津波の高さは大きく変化することとなる。このような事情を踏まえて、沿岸域での避難計画のあり方についても論じる。



しばやまともや

講師：柴山知也（早稲田大学理工学術院教授 横浜国立大学名誉教授）

略歴：1977年東京大学工学部土木工学科卒業、その後、東京大学助教授、横浜国立大学教授などを経て現職

専門：沿岸域防災、海岸工学

津波、高潮、高波による沿岸域の被災機構を解明する研究を現地調査、数値予測、水理実験により進めている。

主な著書：「3.11 津波で何が起きたか」 早稲田大学出版部 2011、「Coastal Processes」 World Scientific 2009、「建設技術者の倫理と実践」丸善 2001,2004、「建設社会学」 山海堂 1996

最近の受賞：「International Tsunami Award, Tsunami Society International, 2012」、「出版文化賞、日本沿岸域学会、2012」、「工学教育賞、日本工学教育協会、2008」、「CEJ Award (the best paper award in 2007), 2008, JSCE」

【調査報告】

- 沿岸域の放射能除染に関する調査研究 菅家 英朗 主任研究員
- 災害時の代替港湾選択手法に関する調査研究 宇於崎 泰寛 主任研究員

お申込方法：別紙「FAX 申込書兼参加証」に必要事項明記の上、下記お申込先までFAXにてお申込下さい。

また、ホームページのお申し込みフォームからお申し込みいただけます。

お申込先：一般財団法人みなと総合研究財団
企画部 鈴木

TEL 03-5408-8292

FAX 03-5408-8741

※お申込みの際にご記入いただいた個人情報は、当該の目的にのみ使用させていただきます。

土木学会継続教育プログラム

(CPD)に認定されています。

認定番号：JSCE12-0941

